

# 令和5年度から保護者・地域・学校が共にすすめる 寝屋川版コミュニティ・スクールが始まります！

「コミュニティ・スクール」とは、保護者・地域・学校が、ともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら未来を担う子どもたちの豊かな成長を支えるための仕組みです。「学校運営協議会」を設置している学校のことをコミュニティ・スクールといい、本市教育委員会では、中学校区に一つの学校運営協議会を設置します。



## ● 学校運営協議会について



学校運営協議会では、教育委員会から任命された委員（保護者・地域・学校等）が小中学校9年間で育みたい力を踏まえ、各中学校区において作成する「めざす子ども像」や「学校経営の重点」等の目標を共有し、学校の運営や子どもに必要な支援について協議を行います。

## ● 寝屋川市がめざすコミュニティ・スクールについて

子どもの豊かな成長につなげていくため、次の2つの考え方で取り組みます。

1

保護者・地域・学校が  
同じ方向性を持った  
コミュニティ・スクール



2

学校と地域が  
相互に活性化する  
コミュニティ・スクール



目標の実現に向け、保護者や地域の方々とともに、学校運営や子どもに必要な支援について、それぞれの立場で子どもの成長を支え、積極的に取り組んでいくことで、地域がつながり、相互の信頼関係を深め、学校・地域がともに活性化し、コミュニティ・スクールをめざします。

## ● 「寝屋川教育」の更なる推進にむけて

「寝屋川教育」は、ディベート教育や道徳教育等で育む「考える力」を根っことし、子どもたちを指導する際に大切にしたい視点や方向性などをまとめた指導法である「ねやがわスタンダード」という水や肥料を注ぐことで、「学力・体力・非認知能力」という葉が茂り、「考える力を身に付けた **たくましく生き抜く子**」の育成をめざします。

令和5年度からは、コミュニティ・スクールの導入により、教育活動のさらなる充実を図ります。

考える力を身に付けた  
たくましく生き抜く子



生き抜く力の根っこを育む  
「寝屋川教育」